

本会記事

2024 年度秋季大会報告

2024 年度秋季大会は、11 月 19 日（火）～21 日（木）の 3 日間、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて行われました。今回の講演発表件数は、受賞記念講演 10 件、特別講演 3 件、招待講演 9 件、一般講演 131 件の合計 153 件、3 日間で約 300 名にご参加頂きました。また、展示会には 6 社に出展頂きました。

朱鷺メッセでの大会開催は 2018 年度秋季大会以来 6 年ぶりです。2022 年度春季大会を開催予定でしたが、2022 年度の春は新型コロナウイルス感染症が依然として流行していたため、オンライン開催へ変更となりました。開催予定年より少し間が空きましたが、新潟で開催することができほっとしています。今回、2018 年度秋季大会開催時とは異なり、2 フロアに分かれての開催でご不便をおかけするのではと心配をしておりましたが、特に問題なく大会を進められました。ただ 2 日目は朱鷺メッセのホールで矢沢永吉コンサートがあり、講演会場にまで賑やかな声が聞こえる等のご迷惑をお掛けしてしまいました。

今回の講演大会では、1 つの企画セッション、4 つの講演特集と一般講演の発表がありました。講演特集「粉末積層 3D 造形に関わる材料および技術の最先端」は 2 日間に亘り開催され、今大会中最も聴講者数が多い特集でした。今回、分野別委員会組織（旧：分科会）再編に向けた情報収集のため、参加登録時に「当会で活動している分野別委員会組織のうち、興味がある委員会」についてお伺いしましたが、粉末積層 3D 造形技術委員会を選択された方が最も多かったことから、皆様の関心が高い分野であると実感しました。本アンケートについては、来年度春季大会でも継続予定ですので、ご協力をお願いします。



また、2022 年度秋季大会にも企画頂いた企画セッション「負熱膨張粉体を用いた熱膨張制御」の開催がありました。神奈川県立産業技術総合研究所 西久保匠様の特別講演「相転移型負熱膨張材料の物質設計と多角的な評価」からセッションが開始され、特別講演、招待講演を含む 22 件の講演があり、一時立ち見が出るほど多くの参加者がありました。休憩時間、セッション終了後も会場を覗くと、活発な意見交換がなされていました。当会では、現在 2025 年度秋季大会、2026 年度春季大会の企画セッションテーマ募集を行っておりますので、是非ご検討ください。

大会初日の 19 日（月）には会場に隣接するホテル日航新潟にて懇親会を行いました。今回ウェルカムドリンクと共に会場を少し早く開放頂いたのも、和やかな雰囲気の中、伊井浩実行委員長の開会の辞に始まり、尾崎由紀子会長のご挨拶、園田修三前会長から乾杯のご発声を頂き、懇親会がスタートしました。懇親会恒例の参加学生さんの自己紹介を行う時間では、大勢の前で緊張する中、壇上でお話頂きました。せっかくお話を頂いている中、事務局の不手際で注目を集めることができず、学生さんには少し悔しい思いをさせてしまったのではと思っています。また、多くの学生さんに参加頂いたため、全員のご紹介ができませんでしたが、ご協力を頂いたこと改めて感謝申し上げます。菊の花のおひたしなど新潟の郷土料理と歓談を楽しんでいると瞬く間に時間が過ぎ、気づけば閉会の時間となっていました。今回は 116 名の方にご参加を頂き、ご交流頂きました。



2025 年度春季大会は、5 月 28 日（水）～30 日（金）の 3 日間、京都大学 宇治キャンパスにて開催予定です。現在春季大会 WEB サイトにて、7 件の講演特集ならびに一般講演で講演申込を行っています。詳細については、本号掲載の 2025 年度春季大会講演募集または WEB サイトより内容をご確認ください。次回大会でも多くの方のご発表、ご参加をお待ちしております。

（小川 千賀子）